

令和 6 年度

租税教育実践発表会資料

石巻市立青葉中学校

教諭 鈴木 悟

1 はじめに

本単元は中学校学習指導要領公民的分野B 私たちの暮らしと経済（２）国民の生活と福祉の役割ア（イ）及びイ（イ）国民生活と福祉の向上に該当する。既習事項である日本国憲法第30条「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う」に触れながら、少子高齢化、環境、社会資本の整備などをはじめとする社会問題について、財政の持続可能性と関連付けながら、税の負担者として自分の将来と関わらせ、税制度について多面的・多角的に考察させたい。

2 生徒の実態（3学年生徒 男子27名 女子27名 計54名）

本単元の学習内容に関するアンケートを行った結果、次の回答が得られた。

社会科アンケート（41名/54名回答）

知っている税金をあげなさい。（複数回答可） 消費税（35人） 所得税（21人） 贈与税（6名） 固定資産税（5名） 法人税（5名） その他少数意見 自動車税、法人税、国税、地方税、 酒税など
税金はどのようなことに使われていると思うか。 救急車 消防車 教科書 図書館などの公共機関の建設・整備 公務員の給与 道路の整備 防衛 年金 医療費 警察 外国に寄付 公園 学校 生活保護
税金を増やすことに賛成か反対か。その理由も含めて 賛成（7名） 反対（21名） 分からない（13名）

アンケートから、自分たちの生活に身近な消費税が最も多かった。中には、固定資産税や贈与税、法人税などを挙げる生徒も見られた。税金の使われ方についても、身近な学校や警察、消防、図書館、医療費など多様な用途が挙げられた。増税については、約半数が反対であった。

このことから、自分たちの生活に身近なところで使われる税に関心があり、そのため増税に関して否定的な意見が多いことが予想される。税金によって、様々な場面で生活が支えられていること、納税することの大切さを理解し、税について興味を持ち、将来の納税者としての意識を高めることにつなげたい。

3 単元の目標

（１）知識・技能

財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。

（２）思考・判断・表現

対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。

（３）主体的に学習に取り組む態度

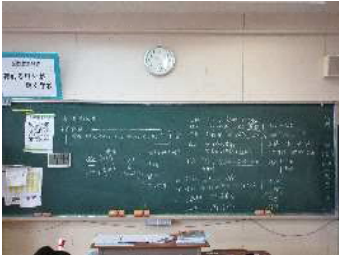
国民の生活と福祉の向上について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

4 学習計画 （本時 1 / 4）

主な学習内容	学習目標	評価基準
1 私たちの生活と財政 (本時)	税金の役割を知り、現代社会の諸問題と関連付け考察し、表現できる。	税金の役割とどのように使われているかに着目し、現代の日本における社会問題と関連付けながら考察し、表現している。(思判表)
2 財政の役割と課題	身近な社会資本や公共サービスについて調べ、政府が果たしている経済的な役割と課題を理解する。	公共サービスはどこがどのように提供しているか、本文から読み取る学習を通して理解している。(知技)
3 社会保障の仕組み	我が国の社会保障制度の仕組みについて理解する。	私たちが日常生活の中で利用している社会保障制度について、理解している。(知技)
4 少子高齢化と財政	少子高齢化社会における社会保障制度の充実と経済成長の両立が難しい理由を、増税の影響に着目して考察し表現する。	社会保障制度の充実と経済成長との両立が難しい理由を、増税の影響に着目して考察している。(思判表)

(1) 本時の指導過程

段階	主な学習活動 ・予想される生徒の反応	教師の支援・留意点	評価
導入	1 税金に関する4択クイズを出題する。 「税金で負担している、中学生一人当たりの教育費は、一年間いくらか」 ・わからない ・10万円くらいかな 「国の収入(歳入)のうち、税金の占める割合は何割か」 ・借金もあるから、足りないのは確か。 ・50パーセントくらいかな 2 本時の課題を提示する。 税金はどのようなことに使われるべきなのか	○あまり解説をせずに答えさせる。 ○一月幾らかかるかを予想させる。  ○歳入の説明を家計に置き換えて説明する。	

展開 (35分)	3 アンケートの結果を紹介する。 4 自分が総理大臣となって、税の使い道を自分で決められると仮定したとき、もっとも優先されるべきと考えたことをその理由を含めてワークシートに記入する。  5 同じ考えのグループを作り（4人程度）意見を交換しながら班の考えをまとめ、全体の発表の準備をする。 ・私もそう考えた。 ・この問題が一番重要だ。 6 班ごとに、自分たちはなぜそれを選んだのか発表する。 7 すべての班の意見を聞き、考えが変わった人は、他のグループへ移動する。	○長くならないようにする。 ○相談せずに、自分の考えを記入するよう声掛けをする。 ○記入が進まない生徒には身近な問題や社会問題と関連付けて記入するよう声掛けをする。  ○他者の意見もワークシートに記入するよう声掛けをする。 ○メモを取りながら、他の班への意見を考える。 ○自分の意見と比べながら、聞くよう声掛けをする。 	社会問題と関連付けながら考察している。【思考・判断・表現】（ワークシートの記入）
終結 (10分)	8 授業を通して、税金をどのようなことに使うべきかそれを選んだ理由をワークシートに記入する。	○記入が進まない生徒に対しては、授業やグループでの話し合い、発表を聞いた感想を書くように、机間指導をしながら助言する。	税についての課題から現代社会に見られる課題や解決策を考え、今後の生活に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】（ワークシートの記入）

(2) 本時の評価

評価規準と方法	十分満足できる生徒の評価 例 (A)	努力を要する生徒への 指導の手立ての例 (C)
【思考・判断・表現】 税金はどのように使われるべきかについて対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し解決策を表現している。	対話的な活動を通じて、他の生徒の意見を聞きながら、自分の考えを深め、具体的な解決策を自分の言葉で表現している。	他の生徒の考えを聞き、税の大切さを理解し、自分の考えをまとめることができる。
【主体的に学習に取り組む態度】 国民生活と福祉の向上について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く考え、主体的に社会に関わろうとしている。	現代社会に見られる課題や解決策を税と関連付けながら多面的・多角的な視野で考察し、今後の生活に生かそうとしている。	他の生徒の考えを聞き、税について関心を深め、自己の解決策につながるような考え方に気付かせる。

(3) ワークシート

私たちの暮らしと経済（私たちの生活と財政①）

3年2組（ ）番 氏名。

税金に関するクイズ。

① 中学生1人当たりの年間教育費の税金での負担額はいくらか。

② 国の歳入（収入）のうち、税金の占める割合はおよそ何%か。

学習課題。

税金はどのようなことにつかわれるべきなのか？

Q もし、あなたが内閣総理大臣になり、税金の使い道を自分で決められるとしたら、税金をどんなことに優先的に使いますか？理由も含めて考えてみよう。

どんなことに使いますか？

そう考えた理由。

(メモ)

振り返り。

税金がどんなことに使われるべきか考えることができた。(A B C D)。

他の人の意見をしっかり聞き、自分の意見と比べ考えることができた。(A B C D)。

感想（授業の感想や税についての感想など自由に書いてください）。

5 生徒の感想

- ・他の人の色々な意見を聞いたのがよかった。他の人の意見で、考えが変わった。
- ・本当に必要な所に税金が使われてほしい。
- ・医療も大切だと思うが、国民の誰もが使う道路などのインフラ整備が大切だと思った。
- ・そもそも税金が足りないと感じた。
- ・色々な問題がつながっていて面白いと感じた。身近な問題も多かったが、私が使い道を決める立場だったら、みんなが助かるインフラ整備とか公共施設に使いたい。
- ・色々考えさせられて楽しい授業だった。
- ・医療とか年金とかも大切だが、教育など子どもたちにお金を使ってほしい。
- ・高齢化よりも少子化対策に使うべきだと思った。
- ・災害の復興を何よりも優先すべきだと思った。
- ・医療を発展させ、世界一の国にしたい。

6 成果と課題

○成果

- ・税金がどのように使われているか、また、国の歳入に占める税金の割合を理解していた。
- ・他の人の意見を聞きながら、過疎化や少子化、町おこし、医療、年金などの問題を関連付けて考える生徒が多くいた。
- ・この後学習する内容につなげられると感じた。

●課題

- ・税に関心を持たせることができたが、将来の負担者として肯定的にとらえたかは疑問が残るので今後の授業で改めて意識させたい。
- ・身近なところでの意見が多かったなので、今後の授業では、国防や経済、外交など広い視野・視点で考えさせていきたい。